

平成26年度みやぎ食の安全安心消費者モニター 新規登録者アンケート結果報告

■アンケート実施内容

- ・対象者は、平成26年度に「みやぎ食の安全安心消費者モニター」に新規登録した62人である。
- ・回答者数は、46人である。
- ・回収率は、74.2%である。
- ・調査は、平成26年4月から平成27年3月までに郵送により実施した。

■アンケート対象者属性

- ・20代が13人（28.3%）と最も多い。また、男性が12人（26.1%）女性が34人（73.9%）である。
- ・年代別内訳（単位：人）

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
13	5	5	10	7	6	0	46

- ・男女別内訳（単位：人）

男性	女性	計
12	34	46

■アンケート結果の表示について

- ・平成21年度のデータと比較した。
- ・年齢階層別に集計した結果、50歳未満と50歳以上の回答者で傾向が異なる設問については、2階層の集計結果を示した。

<結果要約>

1. 食品購入時の行動について

食品を購入する際に「安全性」を最も重視し、次に「品質」、「新鮮さ」の順で重視している。「安全性」を重視する割合は平成21年度に比べて減少している。

2. 表示の確認頻度と重視する点について

食品購入の際に、回答者の90.0%以上が「消費期限、賞味期限の日付」と「原産国・原産地や製造者の情報」を確認している。また、回答者の74.0%が「原材料」を確認しているが、その割合は平成21年度に比べて減少している。

食品の表示については、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」、「文字が小さすぎて見にくい」、「原材料や加工方法など、使われている用語の意味がわからない」、「宣伝文句やキャッチフレーズなどイメージアップの表示が多い」といった不満を感じている。

3. 食品の安全性について

食品の安全性について、「大いに不安を感じている」と回答した人の割合は平成21年度より増加した。

特に、「輸入食品の安全性」、「食品添加物」については半数以上が不安を感じている。

また、平成21年度よりも「食品の異常」に不安を感じている人の割合は増加しているが、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」、「食品表示の偽装」、「BSEなどの家畜の疾病」に不安を感じている人の割合は減少している。

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

問 あなたが食品を購入する際に、特に重要だと思っていることは何ですか？
最も重要だと思うことに◎、次に重要だと思うものに○をつけてください（◎，○は各1つずつ）。

食品を買うときに最も重要だと思う項目は、「安全性」であるとの回答が41.3%を占め一番多く、率では平成21年度よりも低い。次いで「味や品質」（28.3%）が多く、平成21年度よりも高い。
次に重要だと思う項目として多いのは、「価格」（37.0%）であり、次いで「新鮮さ」（19.6%）、「安全性」、「味や品質」（15.2%）、「産地」（6.5%）、「時期（旬のもの）」（4.3%）の順となっている。（図1）

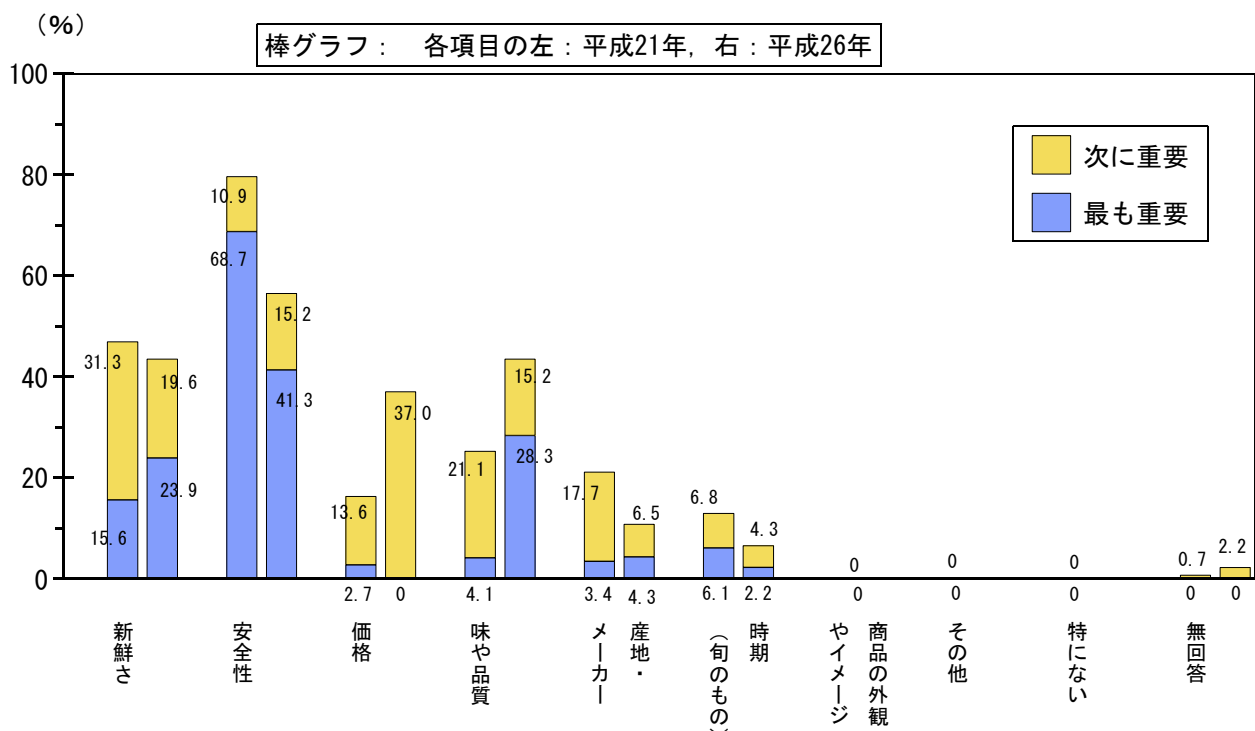


図1 食品を購入する際に重要とする項目

年齢別では、有意な差はみられなかった。

(2) 買い物をするときの考え方や行動

問 買い物について、あなたの考え方や行動に特によくあてはまるものをお選びください（○は3つまで）。

買い物をする際に「安全性に配慮した食品かどうかを重視する」の割合が82.6%で最も高く、次いで「価格が品質や新鮮さに見合っているかをよく検討する」（78.3%）であり、いずれも高い割合である。次いで「多少値段が高くても外国産よりも国内産の食品を買う」（47.8%）であり、平成21年度と比較すると低い。（図2）

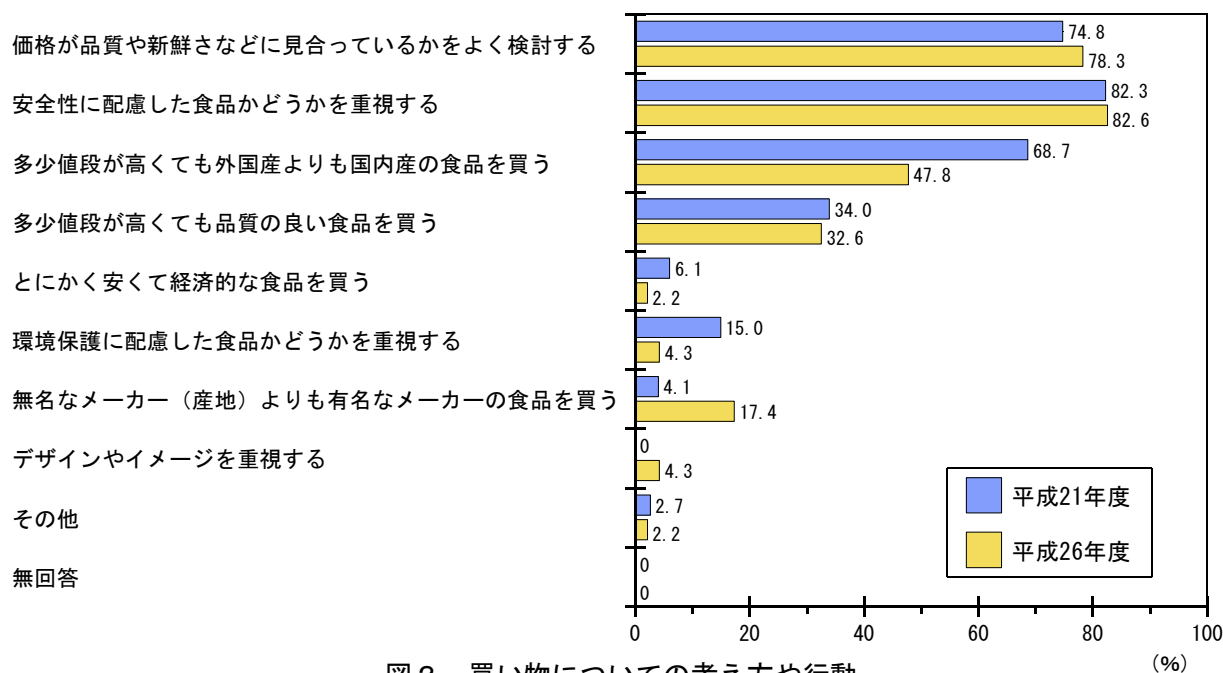


図2 買い物についての考え方や行動

年齢別では、有意差は認められなかった。

2. 表示の確認度と重視する点

(1) 食品表示の確認頻度

問 食品の購入時に、以下の表示についてどのような確認をしていますか？

イ 消費期限，賞味期限の日付

消費期限，賞味期限の日付については，73.9%が「たいてい確認している」と回答しており，平成21年度よりも11.8ポイント低い。「どちらかというと確認している」をあわせると，91.3%の回答者が消費期限，賞味期限を確認している。（図3）

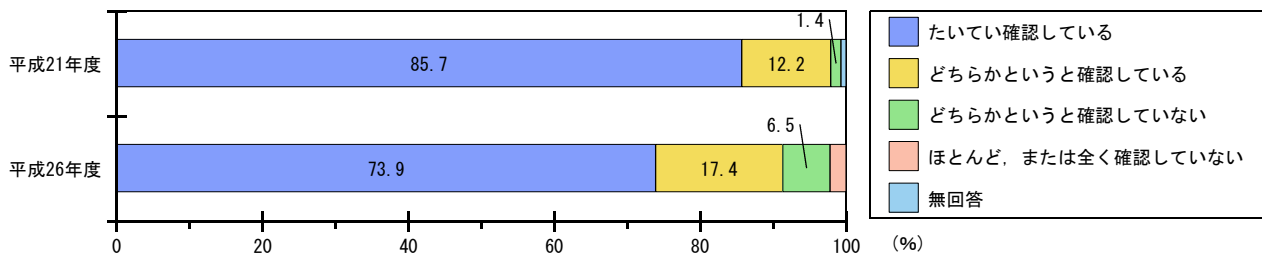


図3 消費期限，賞味期限の日付

年齢別では，50歳未満と比較して50歳以上で「たいてい確認している」の回答率が有意に高く，「どちらかというと確認している」の回答率が低い。（図4）

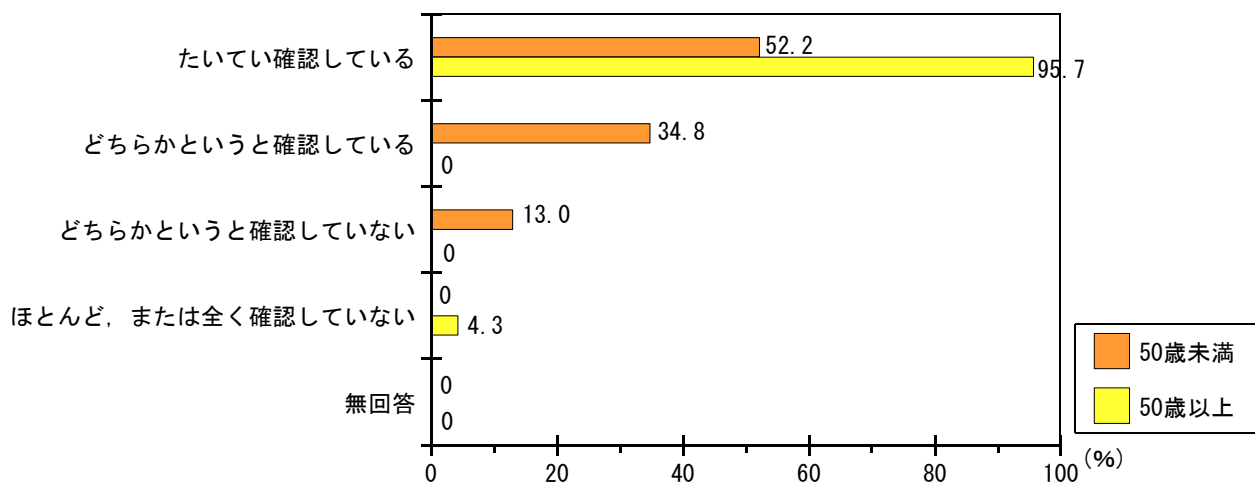


図4 消費期限，賞味期限の日付（年齢別）

ロ 原産国・原産地や製造者の情報

原産国・原産地や製造者の情報については、73.9%が「たいてい確認している」と回答し、21年度と比較して8.4ポイント低い。「どちらかという確認している」を合わせると、93.5%の回答者が原産国・原産地や製造者の情報を確認している。(図5)

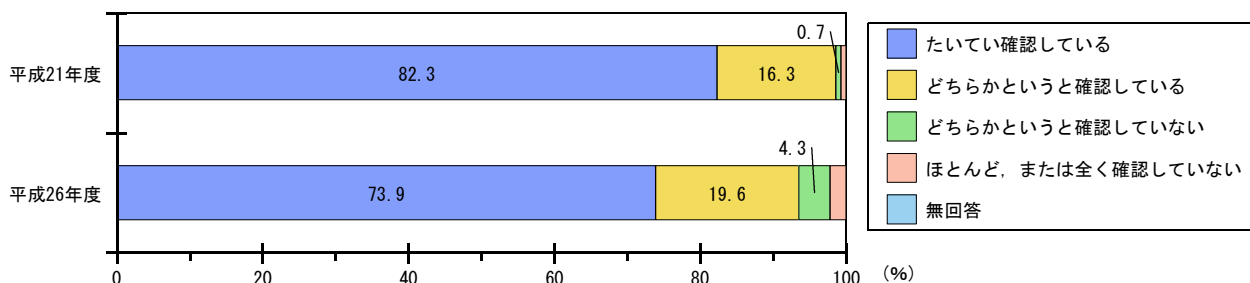


図5 原産国・原産地や製造者の情報

年齢別では、有意な差は認められなかった。

ハ 原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質、遺伝子組み換え食品等の有無など）

原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質、遺伝子組み換え食品等の有無など）については、45.7%が「たいてい確認している」と回答している。「どちらかという確認している」を合わせると、74.0%が確認しており、平成21年度より15.3ポイント低い。(図6)

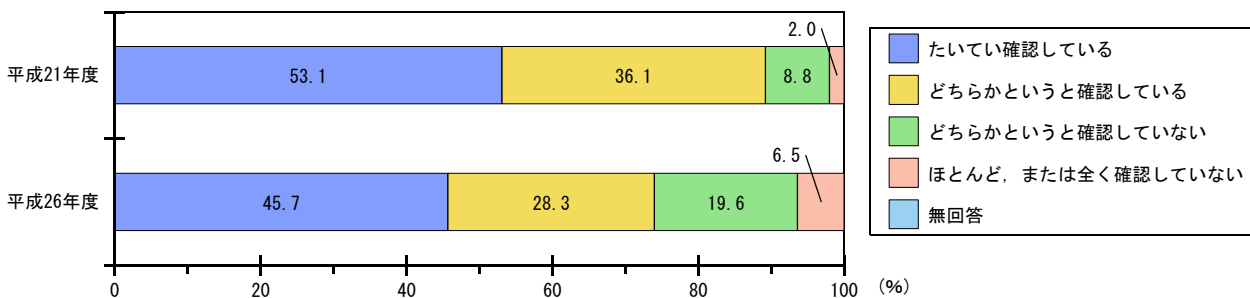


図6 原材料

年齢別では、有意な差は認められなかった。

(2) 食品表示への不満

問 日ごろ、食品表示について不満を感じることはありますか？（〇は5つまで）

食品の表示についての不満は、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」が最も高いが、平成21年度に比べ、18.7%減少している。、次いで「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」、「文字が小さすぎて見にくい」、「原材料や加工方法など、使われている用語の意味がわからない」、「宣伝文句やキャッチフレーズなどイメージアップの表示が多い」の順となっている。（図7）

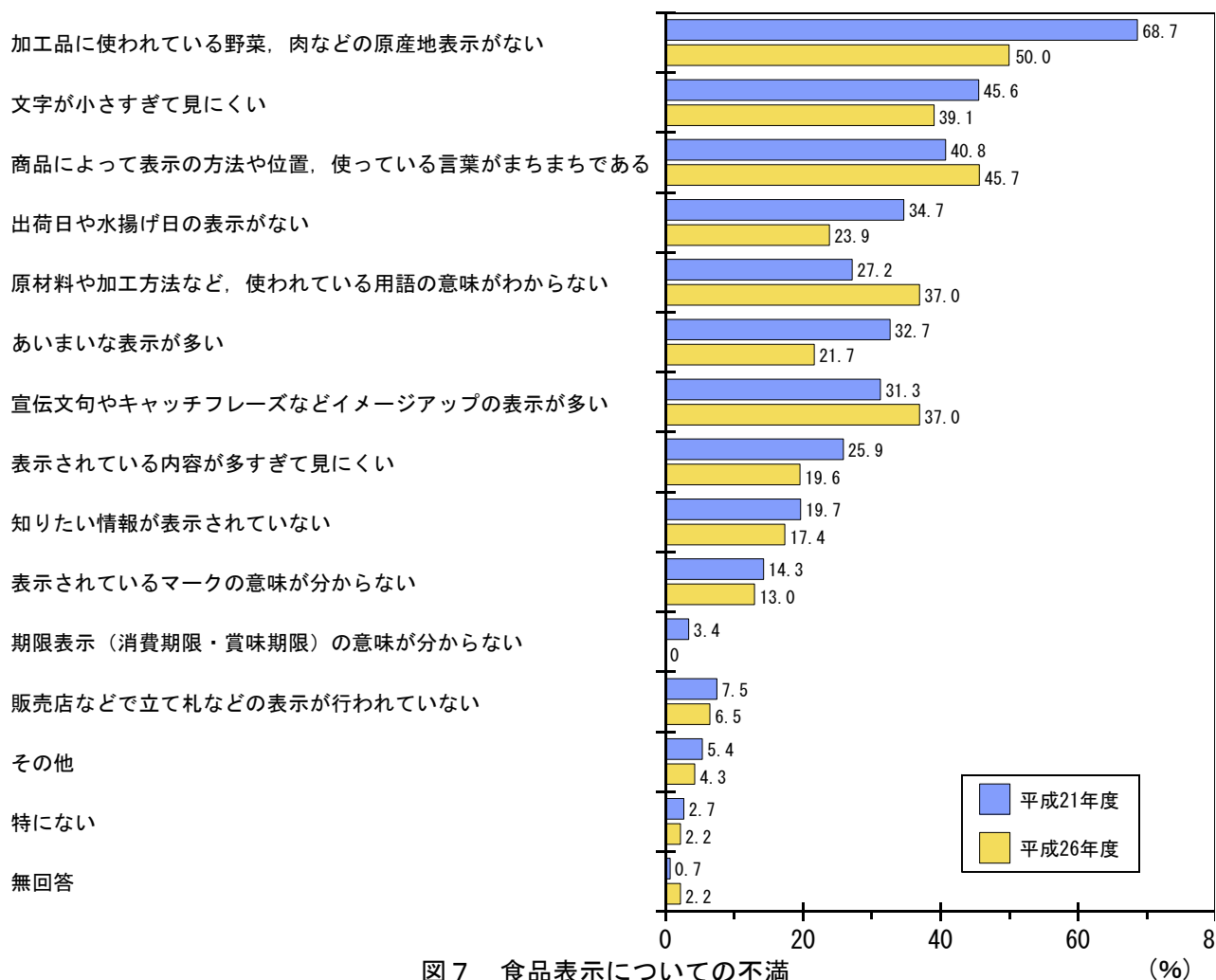


図7 食品表示についての不満

(%)

年齢別では、「文字が小さすぎて見にくい」ことに不満を感じる人の割合が、50歳未満に比べ、50歳以上が有意に高い。一方、「あいまいな表示が多い」ことに不満を感じる人の割合は、50歳以上に比べ、50歳未満の有意に高い。(図8)

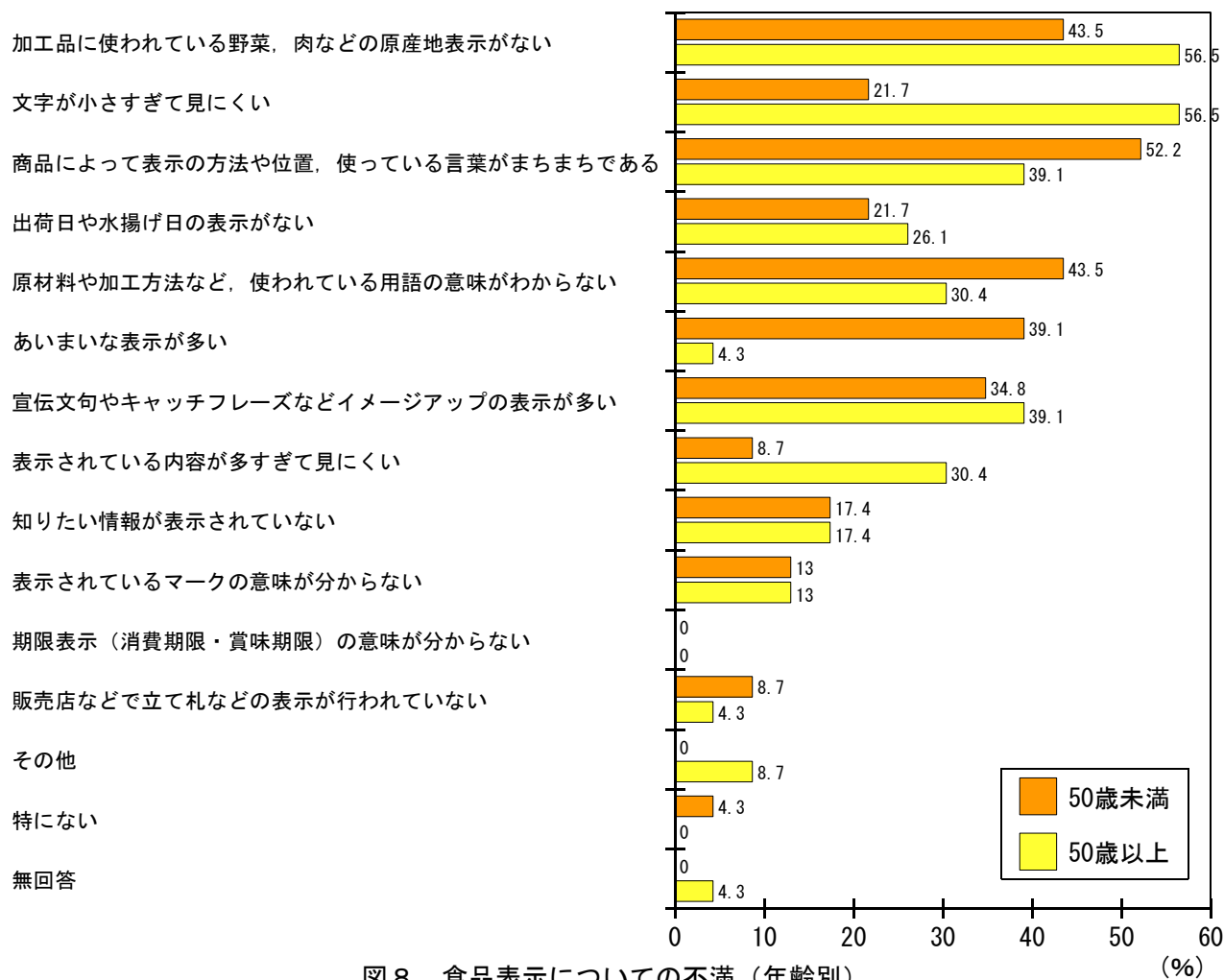


図8 食品表示についての不満（年齢別）

3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感

問 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか？（○は1つだけ）

食品の安全性について「大いに不安を感じている」と回答した人の割合は平成21年度に比べて5.0ポイント高い。「大いに不安を感じている」、「不安を感じている」、「少し不安を感じている」を合わせると95.7%であり、食品の安全性に不安を感じる人の割合は高い。（図9）

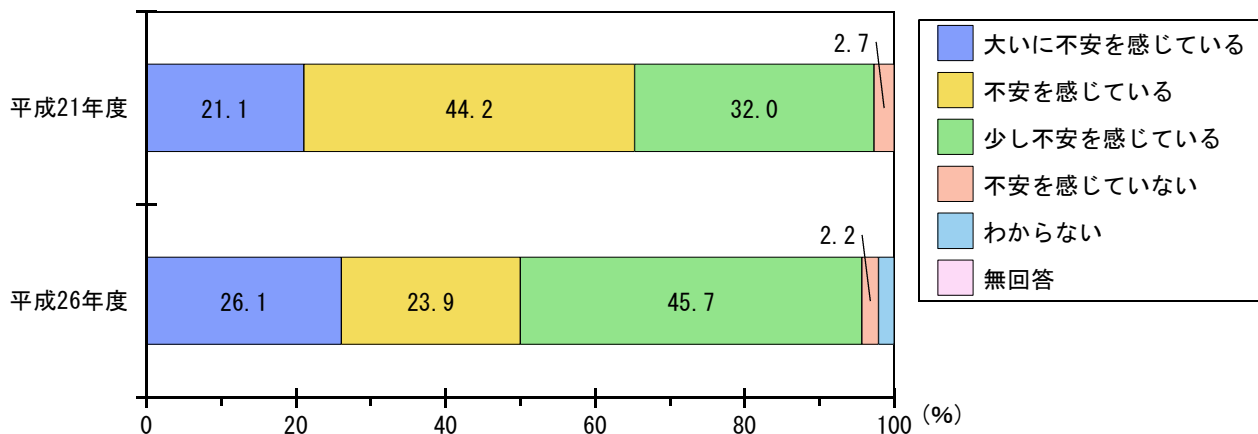


図9 食品の安全性に対する不安感

年齢別では、有意な差は認められなかった。

(2)特に不安を感じる項目

問 特に不安を感じていることは何ですか？（○は5つまで）
 ※ 前問で不安を感じていると答えた方のみ記入

項目別で比較すると、「輸入食品の安全性」、「食品添加物」に対して半数以上が不安を感じている。また、「食品の異常（異物混入，臭味異臭など）」は平成21年度と比べ7.9ポイント高くなった。一方、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」、「食品表示の偽装」、「BSEなどの家畜の疾病」の割合は平成21年度と比べ15.0ポイント以上低下している。（図10）

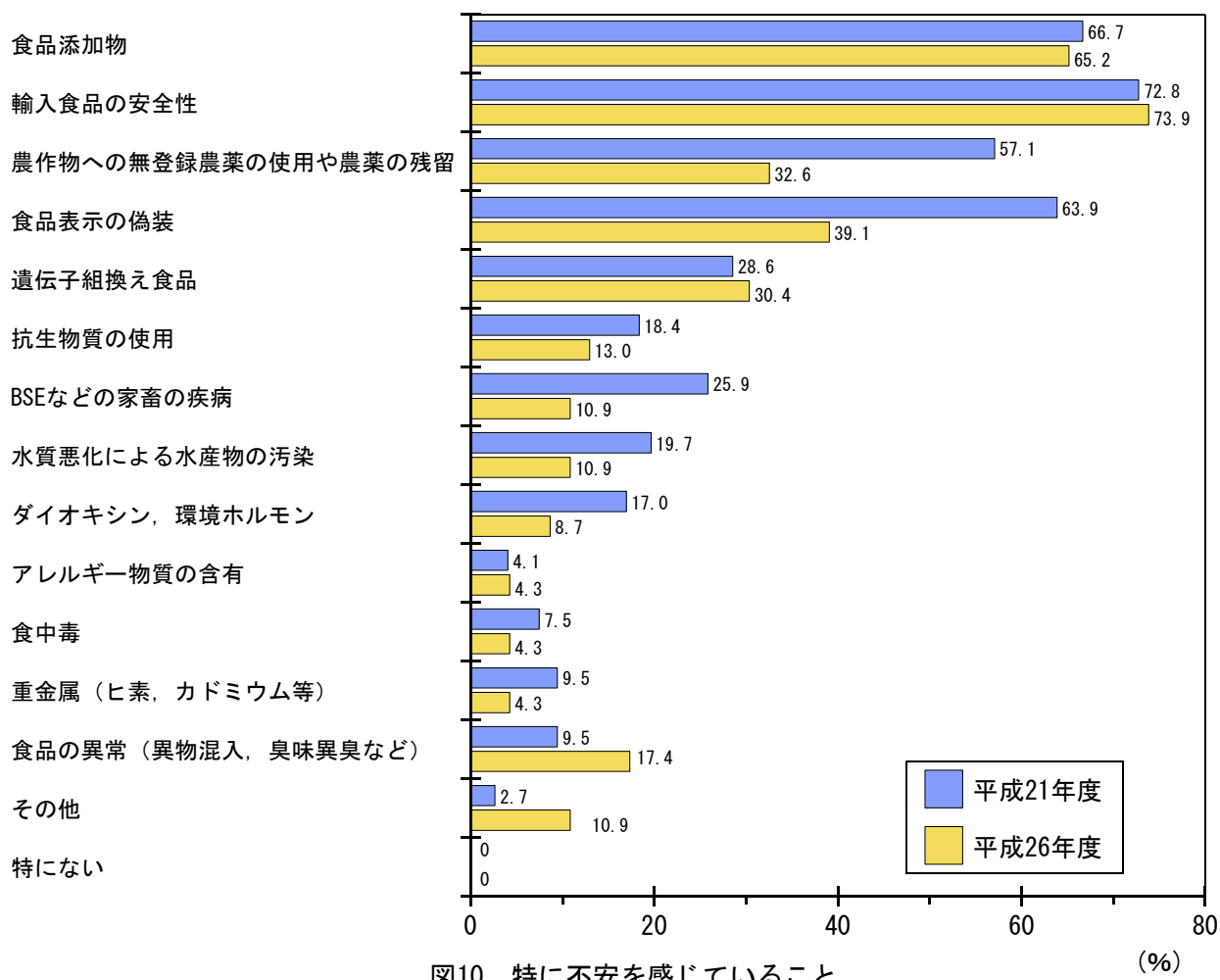


図10 特に不安を感じていること

年齢別では、「食品表示の偽装」に不安を感じる人の割合が50歳未満で有意に低く、50歳以上と50歳未満の格差が大きい。(図11)

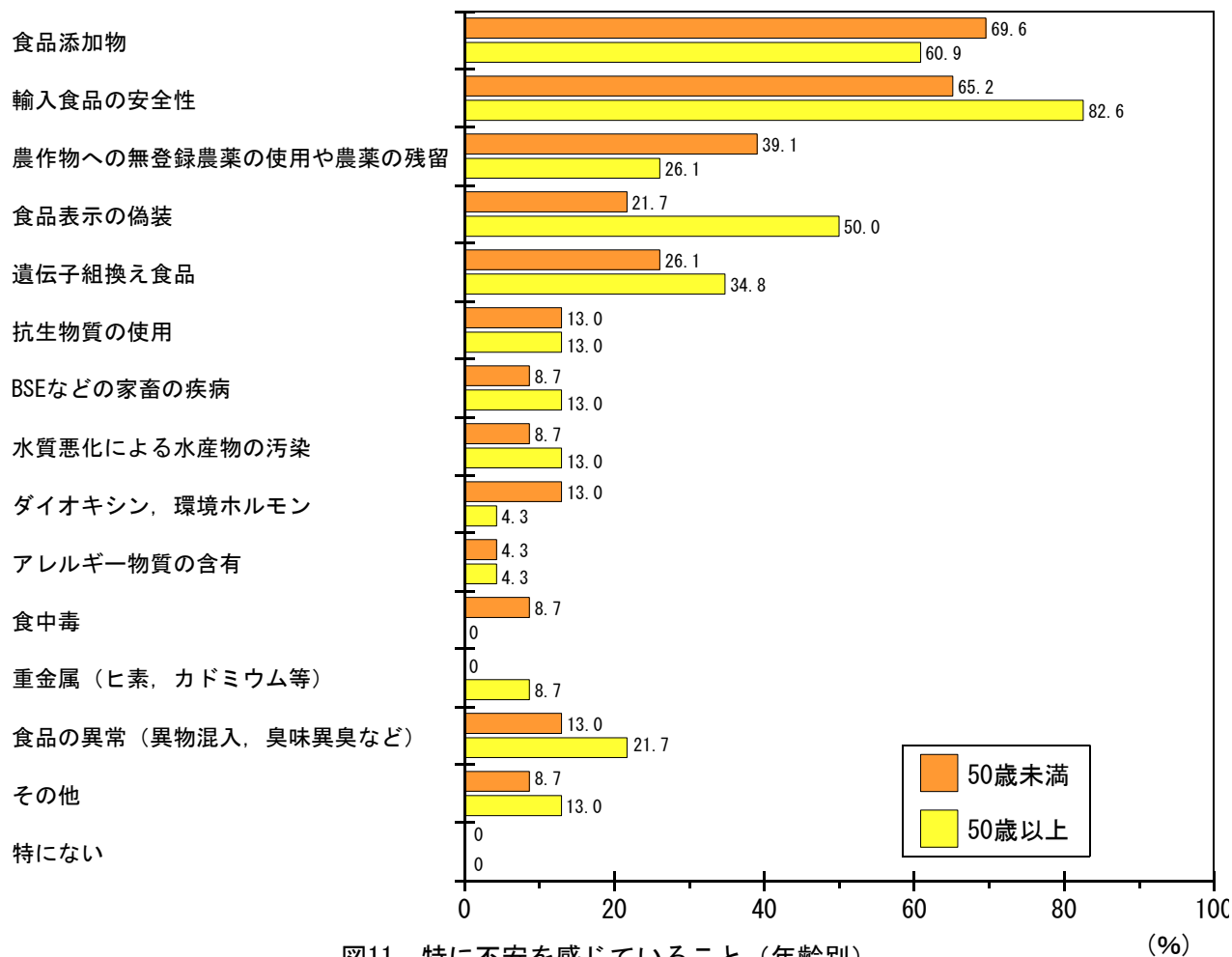


図11 特に不安を感じていること (年齢別)

参考グラフ

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

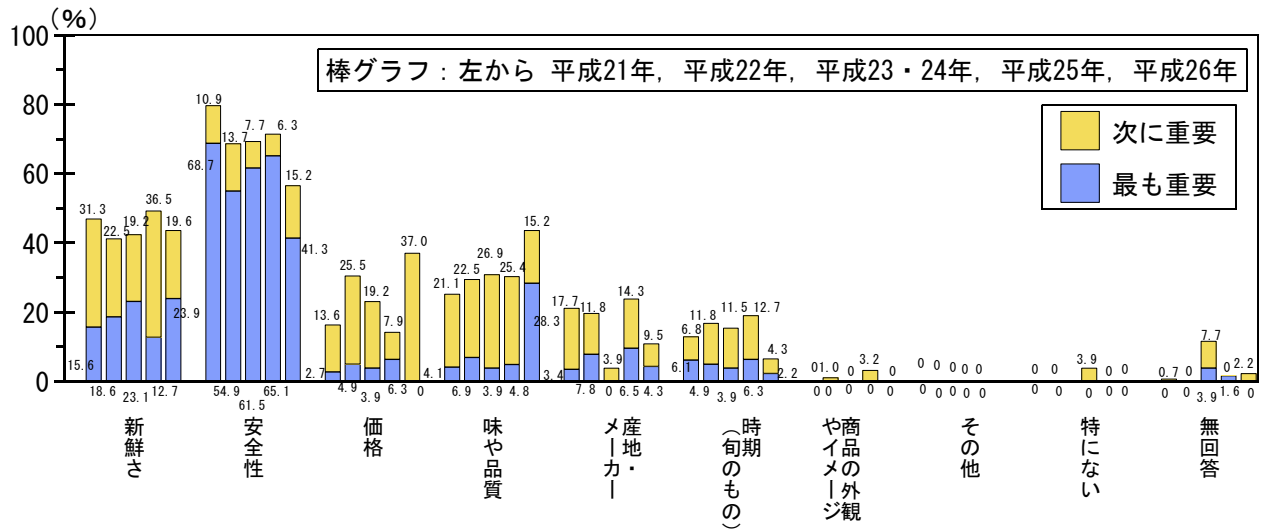


図1 食品を購入する際に重要とする項目

(2) 買い物についての考え方や行動

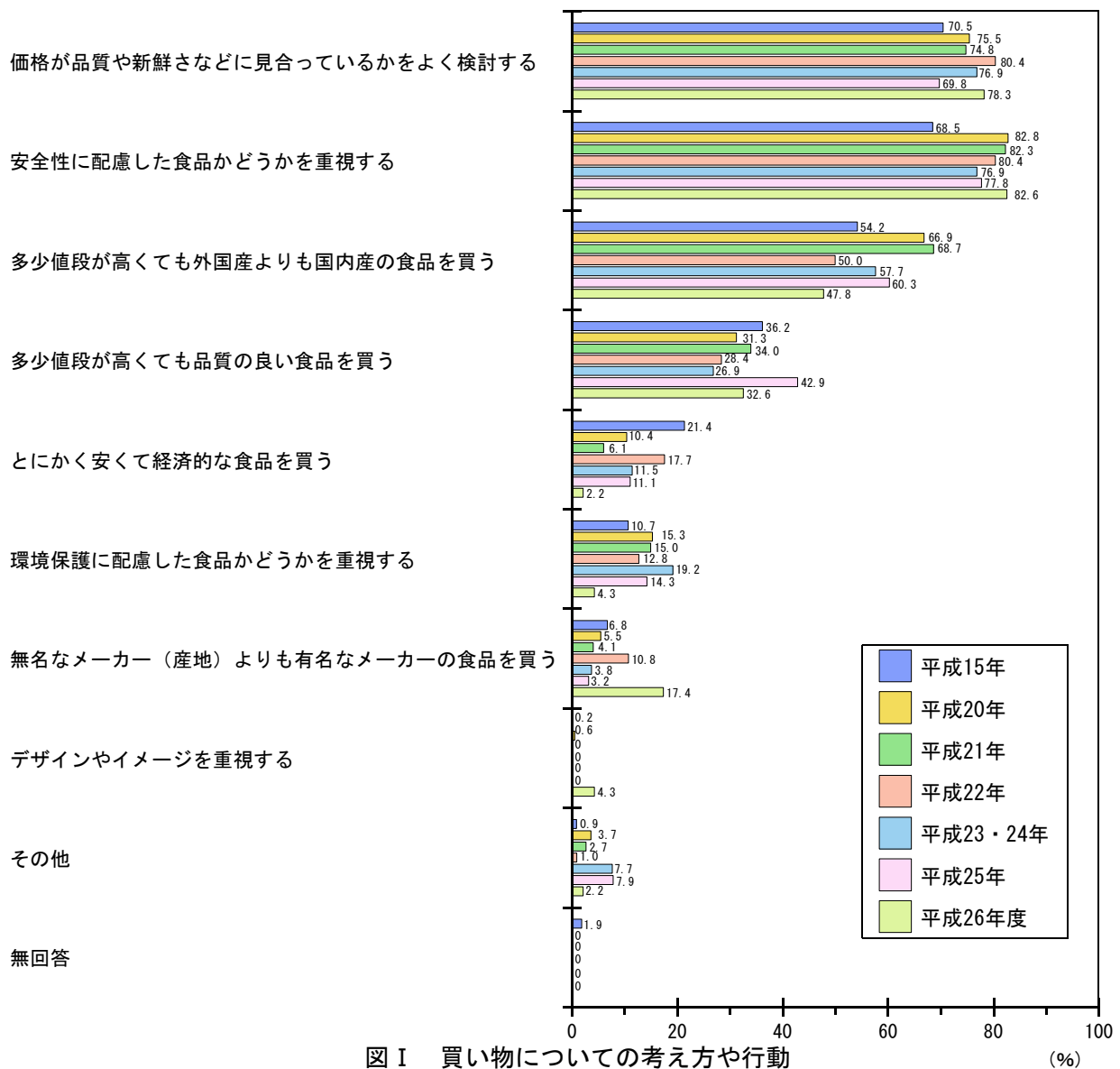
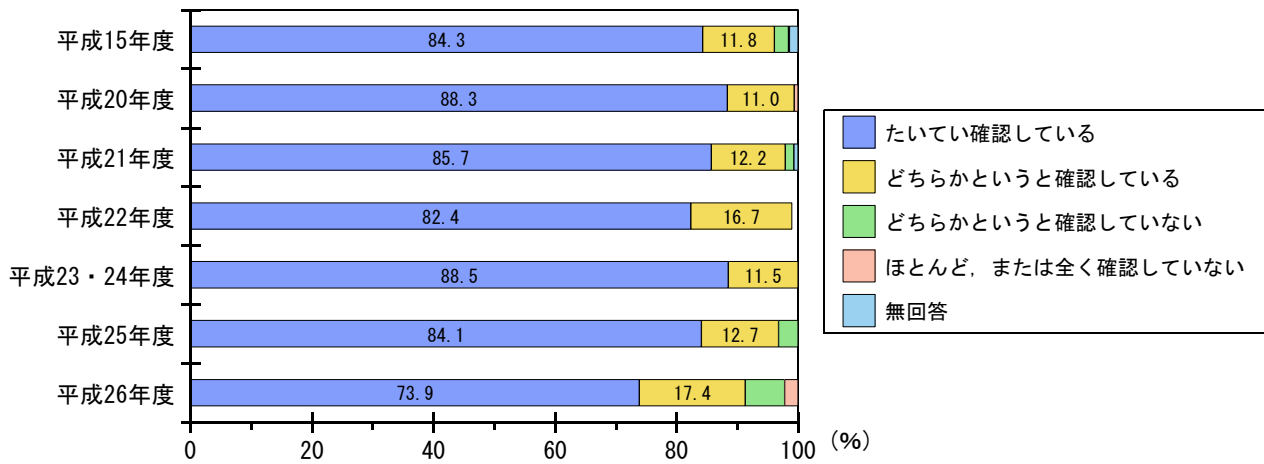


図 I 買い物についての考え方や行動

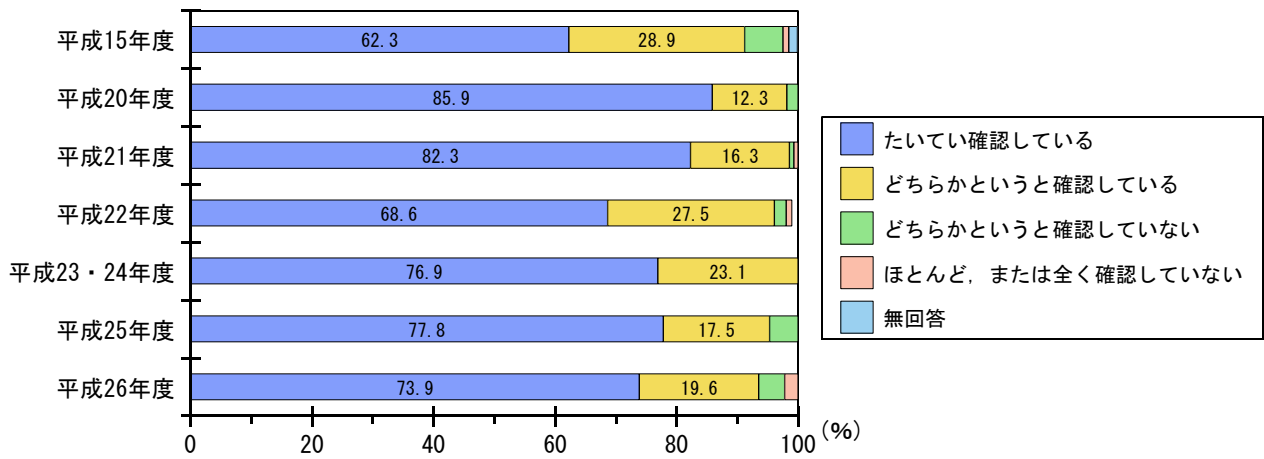
(%)

2. 表示の確認度と重視する点

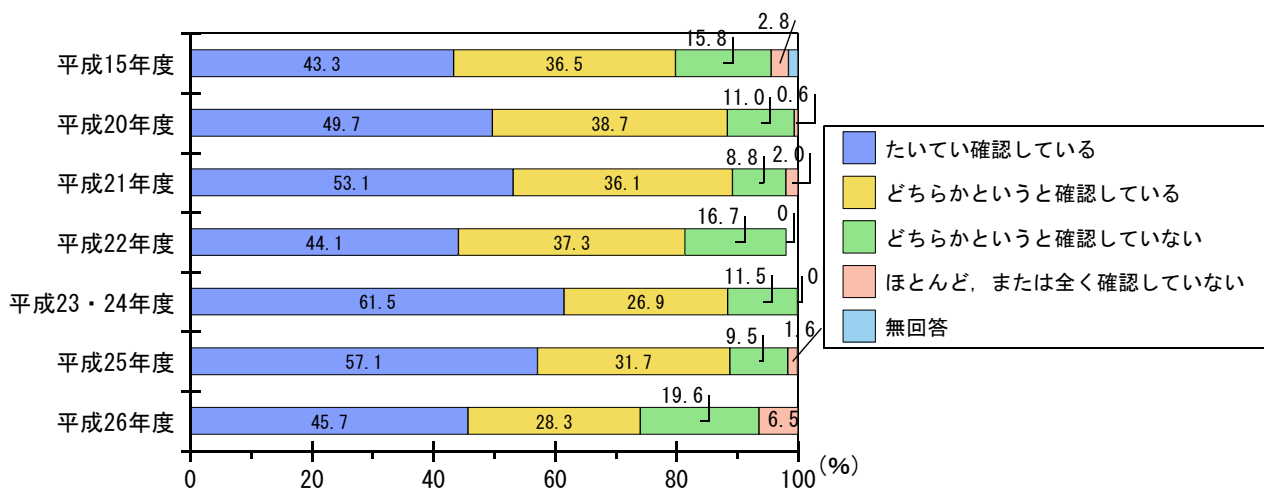
(1) 食品表示の確認頻度



図Ⅱ 消費期限、賞味期限の日付

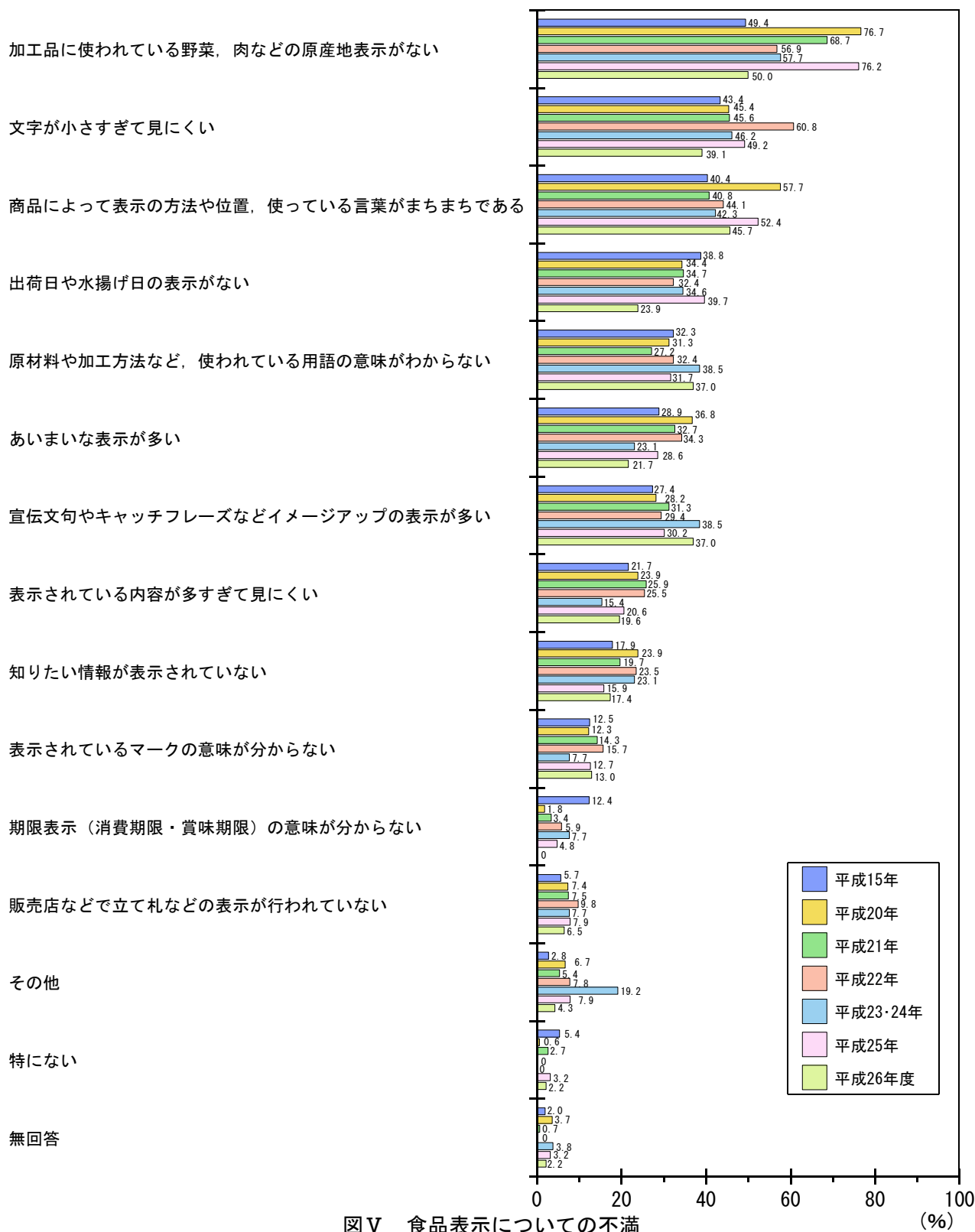


図Ⅲ 原産国・原産地や製造者の情報



図Ⅳ 原材料

(2) 食品表示への不満

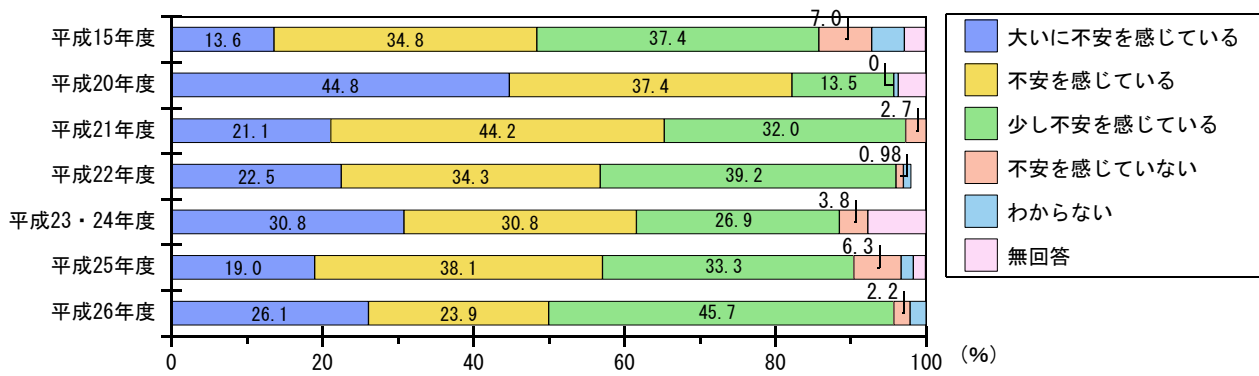


図V 食品表示についての不満

(%)

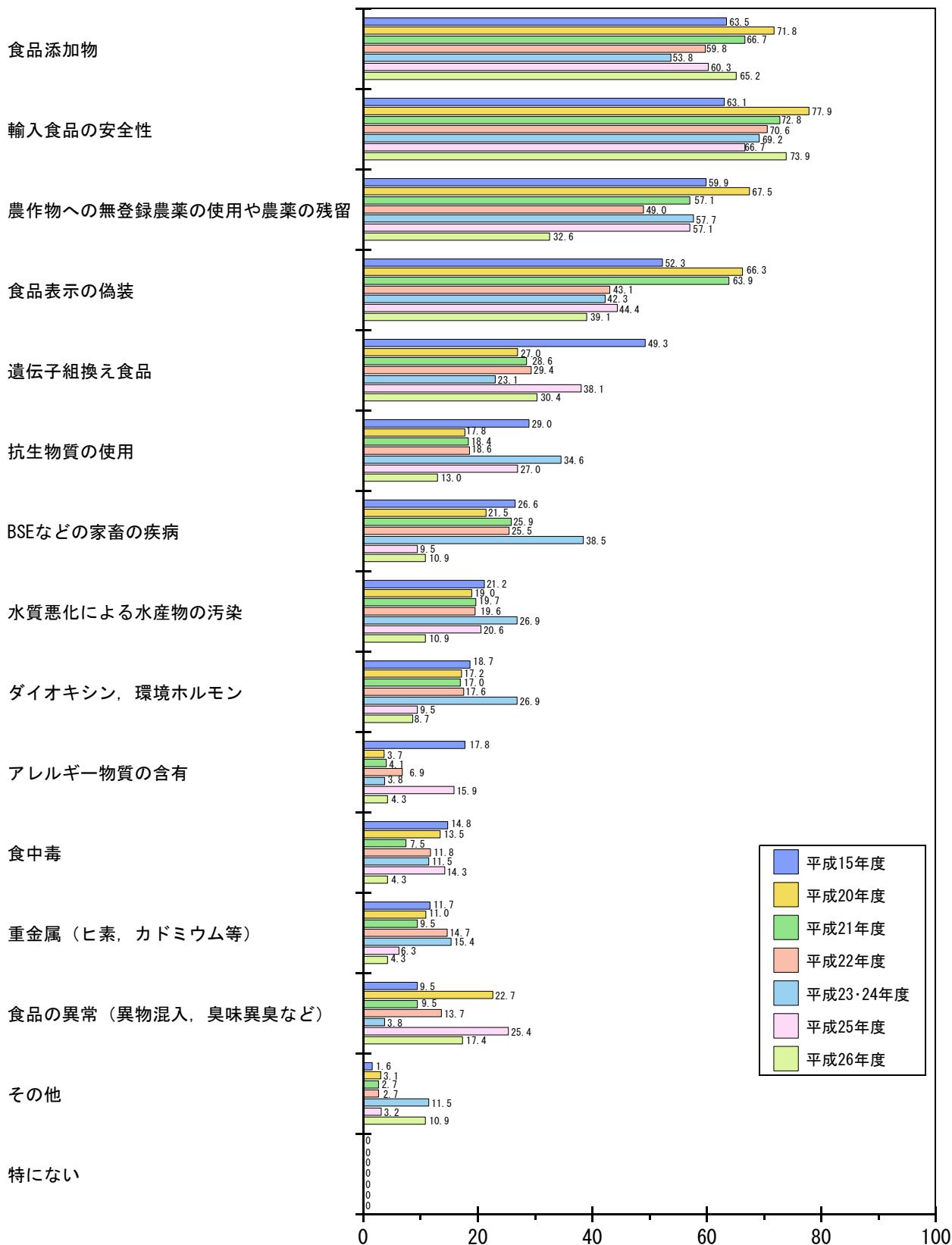
3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感



図VI 食品の安全性に対する不安

(2)特に不安を感じる項目



図Ⅶ 特に不安を感じていること

(%)